

『岸和田市総合戦略』H27年度事業効果検証結果

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)				外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)	地方創生先行型交付金対象事業
									指標内容	基準値	実績値 (H27)	目標値 (年度)		
1	Lesding City 岸和田プロジェクト	自治基本条例の啓発・普及	自治基本条例の趣旨普及						講座等により条例を学習した市民の数	なし	90人 (H27)	8,450人 (H31)	今後の継続的な取組により、効果発現が期待される。	
			条例普及マンガの作成(市立産業高等学校の生徒による作成)											
			デジタル教材・プリント教材の作成											
2	Lesding City 岸和田プロジェクト	中核市への移行	中核市移行に向けた調査・検討						平成30年の中核市移行に向け、着実に取組を進める。				今後の継続的な取組により、効果発現が期待される。	
3	出産・子育て支援プロジェクト	安心して出産できる医療体制の整備	市民病院における産婦人科の充実						分娩数	58件 (H26)	146件 (H27)	440件 (H28未累計)	着実に実績数が伸びており、評価できる。	
4	出産・子育て支援プロジェクト	健診未受診者に対する訪問	乳幼児健診未受診者家庭を訪問						未受診者訪問割合	なし (H27新規事業)	100% (H27)	100% (H31)	当該取り組みは、児童虐待防止に加え、都市イメージの低下を防ぐことにも寄与する。	○
5	出産・子育て支援プロジェクト	子どもの医療にかかる費用に対する助成対象者を拡充	対象年齢の拡充						子育て家庭の不安や負担の軽減対策に対する市民の満足度 (市民意識調査の満足度調査の数値を指標として活用。満足度とは、満足率(『満足』『まあ満足』と回答した人の割合)から不満率(『不満』『やや不満』と回答した人の割合)を差し引いた数値。)	-15.5% (H26)	-10.2% (H28)	-15% (H31)	・人口ビジョン「転出者アンケート」を見ても、子育て世帯の医療費助成のニーズは高いことから、重要な取組と言える。 ・KPIの表現がわかりにくい。総合戦略改定時に、修正する必要がある。 ・事業効果をより適切に測るためには、アンケート対象者を子育て世帯に絞り込んだほうがよいと思われる。	○
6	出産・子育て支援プロジェクト	様々なニーズに対応する保育環境の整備	教育・保育施設の整備						保育所待機児童数	42人 (H27.4.1)	31人 (H28.4.1)	0人 (H31)	・保育所、チビッコホームともに待機児童数が減少している点が評価できる。 ・病児保育事業に対するKPIの設定が必要である。 ・病児保育について、登録者数の推移を確認するなど、事業がどれだけ周知できているか把握する必要がある。また、利用実績等を踏まえ、施設配置の地域間バランスの検討も今後必要となってくる。 ・待機児童数については、人数だけでなく地域間バランスも踏まえた評価・検証が必要である。	○
			民間保育施設の運営支援						特別に保育を要する児童にかかる保育士の人数	1/3人 (H26)	1人 (H27)	1人 (H27)		
			病児保育事業の実施						障がい児受入増加数		8人 (H27)	8人 (H27)		
			チビッコホーム増設による定員拡大						チビッコホーム待機児童数	216人 (H27)	109人 (H28)	0人 (H31)		
7	教育環境充実プロジェクト	児童生徒への支援体制の充実	心理カウンセラー(5名)の配置						小学校における不登校児童の割合	0.6% (H26)	0.7% (H27)	0.4% (H30)	特になし。	○
			エスパル指導員の配置						中学校における不登校生徒の割合	4.1% (H26)	4.4% (H27)	2.6% (H30)		
			スーパーバイザー(精神科医)の配置						小中学校におけるいじめ解消率	72% (H26)	94% (H27)	100% (H30)		
			スクールロイヤーの配置											
			スクールカウンセラーの配置											
			スクールソーシャルワーカーの配置											
			子ども支援員の配置											
			幼稚園支援コーディネーターの配置											
8	教育環境充実プロジェクト	特別支援教育の充実	特別支援教育支援員・介助員の増員						1学級あたりの支援学級等支援者(特別支援教育支援員+介助者)の数	0.054 (H27)	0.055 (H27)	0.124 (H31)	・KPIの表現がわかりにくい。総合戦略改定時に、修正する必要がある。	○
9	教育環境充実プロジェクト	外国語教育の充実	外国人指導助手(ALT)の配置						英語の学習が好きと答える生徒(中学生)の割合	21.4% (H25)	確認中	31% (H30)	『英語が好きと答える児童(小学生)の割合』については、全国平均値を目標値としてはどうか。	○
			小学校英語教育研修の支援						英語の学習が好きと答える児童(小学生)の割合	33.9% (H25)	確認中	43% (H30)		
10	教育環境充実プロジェクト	学校園における情報教育システムの構築	小・中学校情報システムの構築						ICTを活用した授業の時間数(全小中学校における延べ時間数) 算数・数学の学習が好きと答える児童(小学生)の割合 算数・数学の学習が好きと答える生徒(中学生)の割合	21,617時間 (H26) 57.5% (H27) 53.7% (H27)	24,758時間 (H27) H28年9月アンケート予定 H28年9月アンケート予定	105,000時間 (H30) 70% (H31) 65% (H31)	・今後の取組により、効果発現が期待される。 ・KPI『ICTを活用した授業の時間数』の時間の積算方法がわかりにくい。総合戦略改定時には補足説明を加える等の対応が必要である。	
11	教育環境充実プロジェクト	市立産業高等学校市民公開講座(アーチェリー講座)の実施	市民公開講座(アーチェリー講座)の実施						講座参加者数	なし (H27新規事業)	7人 (H27)	15人 (H31)	特色を生かし、産業高校にしかできない市民サービスの実施に取り組んでいる点が評価できる。	○

『岸和田市総合戦略』H27年度事業効果検証結果

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)				外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)	地方創生先行型交付金対象事業	
									指標内容	基準値	実績値(H27)	目標値(年度)			
12	みんなで支えあいプロジェクト	三世代(親・子・孫)が岸和田市内で同居・近居できる環境整備を支援	住宅取得等補助	→					事業効果を踏まえ、方向性を検討	住宅購入及びリフォーム補助申請件数(市補助による)	なし (H27新規事業)	12件 (H27)	100件/年	・今後は市外にも事業を周知する必要がある。シティセールス事業との連携が期待される。 ・池田泉州の取組内容をもっと具体的に記載すべき(例:『住宅ローンの金利優遇等』)。	○
			金融機関(池田泉州銀行)の特典	→											
13	まちの拠点形成プロジェクト	公共交通のあり方を検討、利便性を向上	路線バス・コミュニティバスにICカード等導入の支援	→					市内で運行されているバスの1日平均乗車人数	3827人 (H26)	3861人 (H27)	4100人 (H30)	・今後の継続的な取組により、効果発現が期待される。 ・高齢者の交通ニーズが満たされているかどうかを測る適切な指標が他にないか検討する必要がある。 ・高齢者だけではなく、妊婦や子育て世帯の方の交通ニーズが満たされているかどうかを測定する指標も必要ではないか。	○	
			交通まちづくりアクションプラン策定	→					生きがいを感じている65歳以上の市民の割合	52.6% (H27)	H28年8月 集計予定	56% (H31)			
			プランに基づく事業の実施	→					高齢者が安心して生活できていると感じている市民の割合	18.1% (H27)	H28年8月 集計予定	22% (H31)			
14	まちの拠点形成プロジェクト	JR阪和線東岸和田駅付近の鉄道高架化の実現	上下線高架化に向けた取組の実施	→					踏切による交通遮断時間(市道並松上松線) 踏切による交通遮断時間(府道岸和田港塔原線)	9.8時間/日 (H21) 9.6時間/日 (H21)	6.7時間/日 (H26(下り線高架後)) 5.2時間/日 (H26(下り線高架後))	0時間/日 (H29) 0時間/日 (H29)	今後の継続的な取組により、効果発現が期待される。		
15	まちの拠点形成プロジェクト	グリーンビレッジ構想の推進	岸和田グリーンビレッジ形成計画策定	→					まちづくり(育て)活動実施回数	2回 (H26)	4回 (H27)	15回 (H31累計)	特になし。	○	
			人材・ネットワークの育成	→					市外からの参画団体(企業・世帯)	4団体 (H26)	5団体 (H27)	22団体 (H31累計)			
			地域資源を活かした産業の創出	→											
			拠点を支える基盤づくり	→											
16	まちの拠点形成プロジェクト	丘陵地区内に農業拠点の形成	次世代施設園芸拠点構想の策定	→					農業参入希望者数	なし (H27新規事業のため)	77件 (H27)	累計30件 (H31)	実績値が目標値を大幅に上回っており、取組の効果が現れているように見受けられる。目標値を上方修正する等、更なる効果発現を目指してほしい。	○	
			岸和田フードバレー計画の推進	→											
			補足水源調査	→											
			竹木の有効活用方策検討	→											
17	まちの拠点形成プロジェクト	山手地区のまちの姿を検討	地域の拠点づくり構想の検討	→					住民による地域のまちづくりを考える検討会の開催回数(参加人数)	なし (H27新規事業のため)	2回(31人)	15回(225人) (H31(累計))	特になし。	○	
			地域のエリアマネジメント方策の検討	→											
18	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	創業しようという者を支援	創業時の店舗等改装工事を補助	→					創業実現件数	なし (H27新規事業のため)	11件 (H27)	累計100件 (H31)	・一定の効果はあったと思われるが、ターゲット設定(重点支援産業や重点エリア等)によって、より効果が高まるのではないかと。 ・ターゲットを設定する場合、『女性』や『若者』が考えられる。 ・一方、対象を絞り込みすぎると、交付申請者数の減少が懸念される。そこで、対象は絞り込まないが、重点支援産業の交付限度額を通常より高くするといった制度設計を検討してはどうか。	○	
			商工会議所による創業支援(創業セミナー、創業個別相談の実施)の実施	→											
19	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	青年新規就農者の育成	青年就農給付金を給付	→					申請者数	0人 (H26)	3人 (H27)	8人/年	新規就農者を増やすためには、希望する農地の取得ができる環境づくりも必要と思われる。就農助成と併せて取組を検討することが必要ではないか。		
20	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	産業振興制度の活用を促進	国・府・市支援制度の周知	→					企業への支援制度周知のための訪問件数	なし (H27新規事業のため)	76件	1,000件 (H31(5年間累計))	セミナーや訪問以外の周知(HPでの周知等)にも取り組む必要がある。	○	
			支援制度説明会等のセミナー開催	→											

『岸和田市総合戦略』H27年度事業効果検証結果

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)				外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)	地方創生先行型交付金対象事業
									指標内容	基準値	実績値 (H27)	目標値 (年度)		
21	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	シティセールスプランの策定・推進	シティセールスプランの策定	→					「居住意欲度」府内順位	13位 (H26)	10月頃公表 (H28)	5位 (H31)	・KPI(新聞で岸和田関連の話題が取り上げられた件数)について、事業との関連性が不明確。より適切なKPIを検討する必要がある。 ・市民と協働でPRするということであれば、市外に向けたPR(取組内容)を市民にもっと周知し、市の取組内容を知ってもらわなければならない。	○
			プランに基づく事業の実施		→				新聞で岸和田関連の話題が取り上げられた件数(事件・事故を除く)	233件 (H26)	217件 (H27)	260件 (H31)		
22	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	岸和田アートプロジェクトの推進	アートによるまちの魅力創造	→					事業の参加者のうち、ターゲットとなる年代の人数	357人 (H26)	573人 (H27)	500人 (H30)	市内で様々な文化的なイベントや活動が展開されている。これらの主催者等と連携し、アートイベントを集中的に取り組む期間を設定し、インパクトある事業を展開すれば更に効果的な事業となるのではないかと。	
23	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	まち歩き観光の推進	インバウンド誘致観光動画の作成	→					だんじり会館来館者数	36,433人 (H26)	36,394人 (H27)	37,000人 (H30)	・市HP等だけではなく、ターゲットとなる外国人を意識した宣伝方法の検討が必要。 ・PRは継続的に取り組むことで効果が現れる。継続的に、メディアに情報を提供する等の取組が必要。 ・シティセールス担当との連携、ノウハウの共有等を図りたい。	○
			だんじり3D映像の作成	→					岸和田城入場者数	43,397人 (H26)	41,345人 (H27)	45,000人 (H30)		
			動画等を活用したPRの実施		→									
24	地域の安心・安全プロジェクト	防犯カメラの設置	防犯カメラを設置する町会等への補助	→					防犯カメラの設置箇所	72箇所 (H26)	112箇所 (H27)	277箇所 (H30)	特になし。	
25	地域の安心・安全プロジェクト	市内木造住宅の耐震化	耐震化に関する啓発・広報活動	→					耐震診断補助戸数	69戸 (H26)	66戸 (H27)	50戸/年	特になし。	
			耐震診断・耐震改修工事費に対する補助金の交付	→					耐震改修工事(耐震シェルター含む)補助戸数	24戸 (H26)	29戸 (H27)	40戸/年		
			耐震シェルター設置費に対する補助金の交付	→					除却補助戸数	3戸 (H26)	13戸 (H27)	20戸/年		
			旧耐震基準(昭和56年5月以前)の木造住宅の除却費に対する補助金の交付	→										